申請人等作成用２　Ｊ（「芸術」・「文化活動」）

17　勤務先又は活動先

(1)名称　　支店・事業所・研究室名

指導教員氏名（収入を伴わない学術上の活動を行うために「文化活動」での在留を希望する場合に記入）

(2)所在地　　(3)電話番号

18　活動内容

(1)「芸術」での在留を希望する場合

□著述家　□著述家（指導）　□美術家・写真家　□美術家（指導）・写真家（指導）

□音楽家・舞台芸術家　□音楽家（指導）・舞台芸術家（指導）　□その他（　　）

(2)「文化活動」での在留を希望する場合

□芸術上の活動（　　）

□学術上の活動（　　）

□我が国特有の文化又は技芸についての専門的な研究（　　）

□専門家の指導を受けて我が国特有の文化又は技芸を修得する活動（　　）

19　経　歴

始期		終期		経歴	始期		終期		経歴
年	月	年	月		年	月	年	月	

（20は「文化活動」での在留を希望する場合に記入）

20　滞在費支弁方法

(1)支弁方法及び月平均支弁額

□ 本人負担　　円　□ 在外経費支弁者負担　　円

□ 在日経費支弁者負担　　円　□ 奨学金　　円

□ その他　　円

(2)送金・携行等の別

□ 外国からの携行　　円　□ 外国からの送金　　円

（携行者　　携行時期　　）□ その他　　円

別記第三十号様式申請人等作成用２　Ｊ（「芸術」・「文化活動」）を次のように改める。